

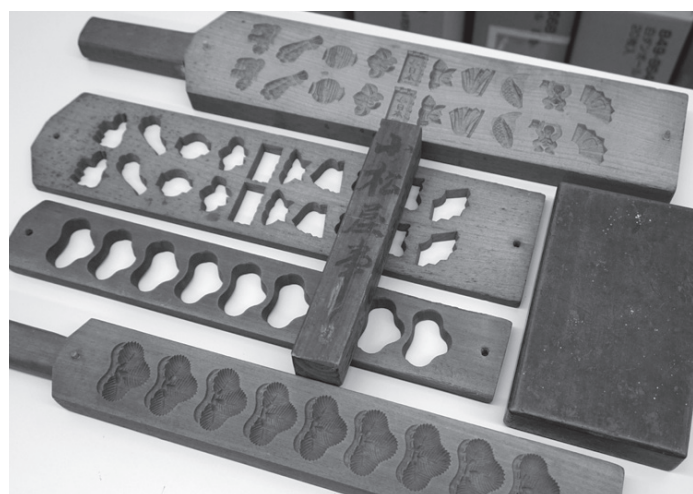
# 町史編さんだより

第15回

## 『祇園饅頭の由来』

「町史編さんだより」の15回目は、明治～昭和期にかけて根雨の名物として親しまれた「祇園饅頭」について紹介します。

※饅頭の写真はイメージです。



▲小松屋の菓子製造器具

苦勞の末、大手饅頭と同じものを作ることに成

功しましたが、まだ満足はやくものではありませんでした。そこで、玉島で評判の玉島饅頭、続いて当時四国高松で有名だった高砂饅頭の製法まで習い覚えましたが、決して満足はしませんでした。

り切れたと断られました。これには参りましたが、勇気を出して向うが勝つか、こちらが勝つか、負けるものかと28日間、一日も欠かさず通いつめました。これでは店も商売ができない、とうとう参った店の主人が「お前程の根気のよい者は知らない。今まで、ずいぶん伝授を受けに来たものはないけれども、かつて根負けして逃げない者はなかった。お前さんにはかなわない。伝授をします。」と折れて出たのです。それから5日間手伝つていよいよ金子饅頭も習得しました。

まわし世界に生れしははまぐはする 祇園にあり  
すわ月たなめり、まはるるを ちかしのんで  
海島をめぐり 味はあつと 人此果物の 極みある  
世にふれぬも 多けれど あつりんに 十の根白  
祇園饅頭の 名ははるる 中のあんこ はうすく  
あつりては 味よくて しる目字も たまのゆを  
まはるるも 柳これの まんぢゆゆ  
あつりては まむく 膳膳まは 煮へにて  
祇園饅頭 及びては 日々にさかた 羽まひて  
あつりては まむく 名あきると なるしとぞ  
まはるるの 衣物は ともは通さず 祈りの花  
あつりては まむく 西せし一帯に つとむれば  
あつりては まむく 祇園饅頭の あらんを  
まむく 名品 味はな せんぢゆゆ ちか  
なは ちか花のちとらつてはる  
根雨にさうの 祇園饅頭

### 「祇園饅頭」の歌

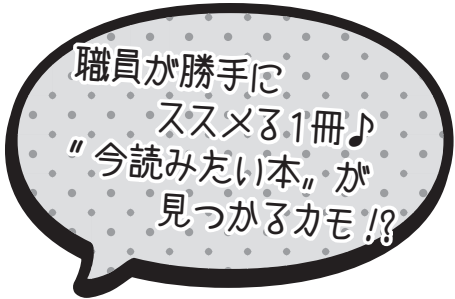
祇園饅頭は、明治、大正、昭和にかけて、郷土の人に親しまれた根雨の名物です。このほど、製造元の小松屋に飾ってあったという「祇園饅頭」の歌（坪倉米山作 原本）や菓子製造器具が、残されていることが分かりました。これは、故川上龜子さん（根雨）が、店を解体する際に譲り受けたもので、現在は山田利美さん（貝原）が保管されています。

### 根気よく秘法を研究（岡山、高松、新見で）

創始者は、鷲見菊太郎さんで、明治14・15年のころ、黒坂小路（根雨）にあった浜屋饅頭で製法を習い、小さな店を出しましたが、何分毎日150くらいしか売れず、一日300作れば、あとの150は腐ってしまふと言われ、とうとうとうと商売になりませんでした。

そこで、当時名高かった岡山の大手饅頭の製法を習うことを考えつき、日ごろ懇意にしていた勝瀬の且那の所に相談に行きました。勝瀬氏は、根雨の名物をつくるというところが気に入って、ちょうどその年に出来た祇園橋に因んで「祇園饅頭」と名付け親となり、必要な費用も借りることができました。

しかし、どうしてもその秘伝がわかりません。これは根気よく17日間続けられました。雨が降っても風が吹いても饅頭を3時間余りも食う客について、店でも不思議に思い「さてはうちの秘法を盗みに来たに違いない」と、初めは上客に扱っていたのが、態度が変わり、おまけにそれきり饅頭を作らなくなりました。一生懸命作っていると行って行くと、すぐに中止してしまい、売



# 読んでみたらんかな～



## 『安曇野ナチュラリスト』

近藤信行 著 / 山と溪谷社

山岳写真家の田淵行男氏についてご存じの方は沢山いるだろう。私が、この本『安曇野のナチュラリスト田淵行男』に出会ったのは去年のことであった。

若かりしころ通っていた長野県へ記念旅行を計画していた折、テレビで安曇野の風景が目にとまり、併せて、日野町ゆかりの田淵行男氏のことが頭をよぎった。このことから、安曇野市を中心とした計画がまとまり、宿泊について蓼科にペンションを経営されている方に相談したところ、田淵行男記念館の紹介と、この本を読んでから行くと参考になるよと『安曇野のナチュラリスト田淵行男』を渡され、数日間は暇を見つけて読んだが、結局旅行に行くまでに184ページしか読むことが出来なかった。しかし、

それだけの知識でも田淵行男記念館では大変参考になり、感激もひとしおであった。

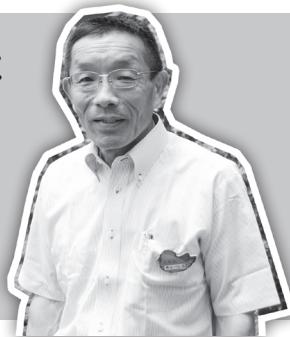
まさに、この本『安曇野のナチュラリスト田淵行男』は私にとってバイブル的な著書であった。

また、田淵行男記念館からは来館記念にと田淵行男氏の「写蝶」の複写を頂き、ゆかりの地である黒坂小学校に展示していただいているのでご覧ください。



この本を紹介してくれたのは…

教育長  
はせがわ ひろのぶ  
長谷川 弘信さん



教育長就任3年目、今ごろになってようやく本を読むことの楽しさ、大切さを感じるようになりました。しかし、それは遅きの感。歳と共に老眼が進行し、長く読むと辛くなるものです。やはり本は小さい時から読んでおけばよかったなと反省する日々。子どもたちには、ゲームより本を読むことの大切さを教えてあげてください。

## 教育委員会からのお知らせ

7月4日に教育委員会を開き、次の案件などについて協議されました。

### ・一般報告として

▼教育委員の異動および教育長職務代行者について報告がありました。

<退任>中西康夫 7月7日付(任期満了)

<就任>生田 進 7月8日付(新任)

▼第72回日野郡民総合体育大会の開催について報告がありました。

### ・議事として

▼日野町子どもの読書推進委員の委嘱について承認されました。

### ・協議事項として

▼「日野町教育振興基本計画(第Ⅱ期)」の改定に

ついて協議されました。

▼平成29年度計画訪問について、意見交換が行われました。

### ・その他

▼「日野町立小学校での課外活動における飛込指導」「水泳指導等プール使用時における事故防止」「小学校外国語活動、外国語先行実施」などの内容について、報告がありました。

### 《次回の予定》

日時：7月31日(月)午後1時30分

場所：役場第1会議室

※会議は公開しています。お気軽にお出かけください。